

ズボンの普及も考えられているが、少し機能性に欠ける感がある。それ故に人体の動きに順応する機能性を根本として改良されるべきではないかと思われるので、身体の動きによる変化の計測結果より機能的な作業衣の下部について検討を試みた。

2. 瘦型、標準型、肥型と思われる名を選び計測を行い、直立姿勢時の寸法と田植時姿勢の寸法の差を考慮に入れたズボン型体を作図した。

3. もんぺと現在使用されている作業ズボンと試作したズボンの3種を着用し、種々の姿勢時において比較検討したところ、被験者は試作ズボンにおいては無理が感じられないと報告している。更に衣服圧の測定によってつれ具合の検討を行った結果も、試作ズボンがかなり望ましい結果となった。

75. 農作業衣について —— 構成の一考察 ——

京都女子大 土井サチヨ

山名 信子

塚原登美乃

1. 新しい繊維の発達や洋服の普及にともなって、農作業衣の改良への関心が昂まっているが、田植時における女子の下部の服装は俗にいうもんぺが主であり、作業